

【南湖公園の管理について】



白河市建設部都市計画課
による説明

南湖公園の管理について

(南湖公園における課題と
今後の市民ボランティア
への期待)

白河市都市計画課公園係
薄葉正雄

南湖をきれいにしよう！
みんな南湖が大好きです。



昔の南湖を復元するためには、市民の理解、協力が必要。

- 現在も南湖にはコウホネやイバラモ等の貴重な水生植物が残っている。
- 上流部の開発などで昭和40年代から南湖の水質悪化が進んだ。
- ブラックバスや雷魚等の外来魚が増加したため、現在、外来魚駆除を実施中。
- 日本大学の長林先生には水質調査、福島大学の黒沢先生には植物の調査、南相馬市の稲葉先生には魚類調査に協力を頂いている。
- 南湖清掃等ボランティア等により水質が改善されてきた。
- 適切な維持管理と自然との調和が必要。
- 白河実業高が南湖ブランド米の研究により、県農業クラブ連盟意見研究発表大会で優秀賞獲得。
- 南湖ジュンサイの復元に取り組んでいる。
- 森林公園の管理棟建設により、南湖の活動拠点ができる。

【市民ネットワークに関する意見交換】



南湖祭実行委員会
による説明

平成20年は、松平定信公の生誕250年という大きな節目を迎える。定信公のご遺徳をたたえ、下記の日程にて、「南湖祭」を開催したい。定期的に会合しながら内容の充実を図る。

- 開催日時：11月下旬予定 10時～15時
- メイン会場：芝生広場
- 実行委員会の構成：南湖に関係する市民団体
- メインテーマ：定信公のこころを未来へ！
- 集客方法：関係する既存の団体出し物（内容）& 鳴り物（和太鼓・よさこい踊り）& クイズ形式のオリエンタリング& スタンプラリー（案）
- タイムスケジュール：当日の時間別催し案内を作成する
- 南湖再発見オリエンタリング：タイム競争はしない。参加者には記念品（抽選）
- 交通事故を防止するため、各団体より交通誘導員を配置する。
- 予算（最小軽費で最大効果）：フリーマーケット収益の活用

第2回南湖祭の詳細については、実行委員会で検討中。

【南湖の水環境の現状と改善に向けて】



長林教授（日本大学）
による講演

- 水質の現状
 - ・谷津田川の取水口から南湖まで、CODの数値は高いが、窒素・燐の数値が南湖中央では低い値を示す。CODは下水道整備により削減効果が出てきた。窒素・燐は増加傾向にある。
- 南湖における水生植物と植物プランクトン
 - ・水生植物の適度な繁茂は水質の浄化が期待できるが、異常な増殖は水質浄化はされず汚濁となる。マコモ・ヨシ等は天然の曝気効果が期待できる。コカナダモ、ヒシは異常な増殖をするため除去。
- 水質予測は可能か
 - ・南湖の流入水路及び南湖の栄養塩類の収支計算により水質予測は可能
 - ・5月から10月にかけて、窒素・燐の数値は下まわり水生植物の浄化効果を認める。5月から8月にかけてBODの削減が認められる。
- 水質改善に向けて
 - ・あるべき姿は、利水は勿論、すぐれた景勝の地、ジュンサイの採取により資源としても利用。
 - ・流入部のエコトーンの復元や、水質改善を促す適切な水面管理が必要
 - ・水生植物の計画的な管理による植物の栄養塩類摂取量を増加させる。

南湖は市民の活躍を必要としている。

南湖を中心として循環型社会形成・環境保全のモデル特区へ。

ワークショップにおける質問などをまとめてみました。

質問

- Q1 文化財としての南湖を保護するために市民ができることは？
- Q2 森林公園の管理棟はいつ頃できるのか？
- Q3 今年は記念の年にあたるが、南湖祭をどう取り組んでいくのか？
- Q4 南湖祭の会場が芝生広場ということだが、担当窓口は商工観光課ではないのか。市民とすれば観光関係の窓口は商工観光課だと思っているが実際にはそうではない。窓口を一本化できないのか？

市、担当者の回答

- A1 文化課の方で去年と今年にかけて、南湖の第2次保存管理計画を策定している。現状を変えるような行為に対しては、文化庁の許可が必要である。市民から申し出があれば、手続きは文化課が行うよう働きかけをして行く。皆さんの御協力をお願いしたい。
- A2 2月15日に会議を行う予定。平成22年度に完成の見込。県の予算等もあるので遅れる可能性もある。整備箇所は、南湖から白河第一小学校間の山林。
- A3 詳細については、実行委員会の中で決めていきたいと思う。
- A4 芝生広場の占用は都市計画課の担当であるが、現状を変えたり、テントを建てたりすることは文化課の許可が必要。市民の申請手続きに対して、行政が代行できるようなシステムづくりが出来れば良いと思う。

質問

- Q1 南湖への流入量を増やし湖内にエコトーンを導入できないのか？そうすれば水質浄化に一番良いのでは？
- Q2 流入部の上の方がまた開発されてきて水田が汚染されている。南湖に入る雨水や自然水の流入量が減っていると思う。そういう影響を見越してやらないといけないのではないか？
- Q3 南湖にはヒシやコカナダモ等が増殖しているがどんどん刈った方が良いということか？

長林教授、県の回答

- A1 (県) 受益者が使用料を払っている水利権があるので、県で一方向的に水の使用を制限することができないのが現状。
(教授) 南湖にエコトーンを導入しても水質は目に見える程変わらない。ただ有機物の補足効果は変わる可能性はある。しかし、南湖に流入する前に除去する事が一番効率が良い。
- A2 (教授) 市街化区域の用途地域をどうするかである。全体を見越した用途地域変更も必要。しかし、行政の一部署だけでは厳しく難しいところである。開発許可に対して、どれだけ住民側でそういうものを言えるかということが課題。
- A3 (教授) 刈る時期も課題となっている。福大の黒沢先生たちも考えており、試験をしながら皆さんと相談して、その成果が出たところで対策を考えた方が良いと思う。

長林教授のアドバイス

- ・流入負荷削減対策として、南湖の流入区間に自然浄化機能の増大を図るため環境型の水路の整備。
- ・湖内浄化機能対策として、流入部のエコトーン復元による汚濁物質の補足効果の増大。
- ・エコトーンの復元や水質改善を促すためには適切な水量管理が大切。
- ・環境変容に対応する能動的なPDCA（プラン→行動→チェック→アクション）サイクルの構築。

県からのお知らせ

- ・今年度、県南建設事務所で、南湖の動植物のパンフレットを作る予定。
植物関係で1編、動物関係（魚類、鳥類、水生生物等）で1編を作成し配布する予定。

まとめ

- ・今回皆さんに頂いた、貴重なご意見やご要望を今後の南湖公園の保全・利活用に活かしていきたいと思っております。